

平成8年度前期報告(4月~9月)

会計委員長 吉田 弘 司

収 入	支 出	差 引 額
9,044,666円	7,093,621円	1,951,045円

*1. 収 入

(単位：円)

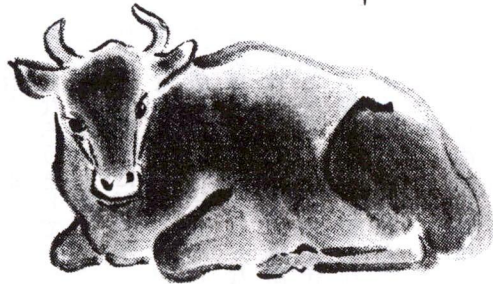
科 目	A. 予算額	B. 前期実績 (4月~9月)
1. 繰 越 金	592,150	592,150
2. 正 会 員 会 費	8,710,000	7,281,500
3. 特 別 会 員 会 費	157,600	172,000
4. 交 付 金 補 助 金	1,560,000	612,505
5. 寄 付 金・受 取 利 息	130,000	142,936
6. 雑 収 入	400,000	240,575
7. 繰 入 金	0	0
合 計	11,549,750	9,044,666

*2. 支 出

(単位：円)

科 目	A. 予算額	B. 前期実績 (4月~9月)	
I 経 常 費	1. 会 議 費	230,000	158,601
	2. 事 務 消 耗 品 費	320,000	157,508
	3. 旅 費・交 通 費	50,000	40,500
	4. 交 際 費	400,000	188,000
	5. 給 料 手 当	2,025,000	945,000
	6. 防 災 費	340,000	45,979
	7. 通 信 費	10,000	10,300
	8. 雑 費	700,000	157,413
小 計	4,075,000	1,703,301	
II 事 業 費	1. 町 内 会 活 動 費	960,000	960,000
	2. 総 務 委 員 会 費	160,000	60,000
	3. 会 計 委 員 会 費	270,000	30,000
	4. 文 化 厚 生 委 員 会 費	850,000	850,000
	5. 広 報 委 員 会 費	900,000	610,000
	6. 環 境 整 備 委 員 会 費	330,000	290,000
	7. 衛 生 委 員 会 費	130,000	130,000
	8. ふ れ あ い 委 員 会 費	280,000	280,000
9. 消 防 委 員 会 費	600,000	600,000	
小 計	4,480,000	3,810,000	
III 募 金 及 び 団 体 助 成 金	1. 日 本 赤 十 字 社	750,000	737,060
	2. 赤 い 羽 根	810,000	—
	3. 年 末 た す け 合 い	340,000	—
	4. 子 供 会	175,000	175,000
	5. 青 少 年 育 成 推 進 協	50,000	50,000
	6. 婦 人 会	60,000	60,000
	7. 寿 会	155,000	155,000
	8. 体 育 振 興 会	290,000	290,000
	9. 防 犯 協 会	90,000	88,260
	10. 湘 北 地 域 づ くり	25,000	25,000
小 計	2,745,000	1,580,320	
予 備 費	249,750	0	
合 計	11,549,750	7,093,621	

謹賀新年



今年もよろしくお願ひ申しあげます。

新年を迎えて

自治会長 熊澤 藤 俊

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

さて、平成八年四月新役員も決まり、平成八年度の活動が開始され、九ヶ月を経過いたしました。この間、役員諸氏の懸命の努力と自治会員の積極的な応援を得て、大半の行事が順調に進みましたが、これに対し、心より感謝申し上げます。七月の浜降祭、八月の盆おどり大会、九月二十二日、あの暴風雨の中での敬老大会、そ



発行所
香川自治会広報委員会
印刷所 (有)スエカネ印刷

の他地引き網大会、体育祭への参加、文化祭、駅前清掃などいろいろの行事に多数の参加を得て活発な活動が行われましたことは、大変喜ばしい事と思っております。また、本年度、特に町内会の活動について申し上げますと、各町内会では、各地域の特性を生かし独自の防災対策や組織づくりに懸命に取り組んでいるという事であり、確かに香川自治会には防災についての組織はあります。が、一昨年一月の阪神大震災のような大規模な地震が発生した場合、その時点では殆ど機能しないのは明らかであります。従ってこの防災組織の見直しは勿論ですが、一旦緊急の場合、自分の身は自分で守る、また、隣近所の助け合いや協力の意識が不可欠であります。この意味で各町内会で防災意識の向上をめざして、救急講習会や防災連絡ネットワーク作りなど、組織づくりに懸命の努力を頂いております。しかし、都市や人口の多い地域では、隣近所意識が大変薄いと云われております。香川も人口の増加により都市型になって来ており

ますし、今後はこうした意識の改革をめざし、また自治会員の協力を得て、実際に役立つ防災対策の組織づくりが、早期に実現出来ましよう、心より期待いたしております。

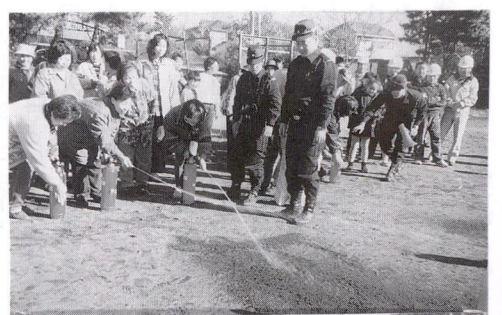
なお香川自治会では、平成九年度に向け、地域の環境づくり(ゴミ収集、駐輪場の整備、交通問題など)や、人口増加による自治会の分離分割の問題、また役員選出方法の見直しなど、幾多取組まなくてはならない問題を抱えております。自治会員の積極的なご意見を頂きながら、一步一步前進していきたいと思っておりますので、ご協力頂きますよう、よろしくお願ひいたします。

防災訓練を実施

香川第一青少年広場で、12月8日(日) 9時30分から、100名ほどが参加して、防災訓練が行なわれた。

各町内会長の指揮に従って、町内会毎に整列。参加人員報告後、自治会役員は本部前に集合。防災本部長(自治会長)の挨拶の後、各町内毎に所定の場所に移動して、訓練に入った。

二班に分れて第一・第二町内会の人々が先ず起震車の体験をする。10人ずつ乗り震度1から7までを体験。震度7では立っていられず机にしがみついたり、腰をおろして坐る人もいた。「本当に突然こんな強い揺れがきたらこわいね」と、みな話しあっていた。参加者全員が体感したので、いざという時の心構えはできたのではない



水消火器の訓練

でしようか。

第三・第四は消防署員の指導のもとに、初期消火の訓練を行なった。近所の迷惑にならないようにと、今年も水消火器を使った。また町内会ごとにバケツリレーも行われた。ビニール袋に水を入れて、火に向って叩きつけるように放り投げ、消火する訓練もした。その後、消防署員や救護班指導のもとに三角巾の使い方の訓練をした。

風もなく、暖かな日だったので、事故もなく、午前中で終了、大団圓の講話があった。

訓練が実際に生かせるように、日頃からの練習も大切だと思われた。



三角巾の使い方の実習

温かい励ましを

総務委員長 温美隆次

最初に香川駅南側の市営駐輪場についてお知らせいたします。

自治会として、再三市へ要望してきましたが、昨年末、やっと予算がつき、改修工事をするとの連絡がありました。約二〇〇台の放置自転車を撤去して、一月中旬ごろまでに、改修工事が終了予定です。

香川駅北側、不動産研究所横の駐輪場(約一五〇台駐輪)は、なぐなりですが、それらも含めて駐輪できるように、相模線側にある市有地を整備して、約一三〇〇台を収容可能にする予定とのことです。今後ともお互いにきれいに使用するようによしを。

次はお願いです。名前を告げない電話についてです。ご存じのように、香川自治会は、まもなく三〇〇〇世帯にもなるうとしています。茅ヶ崎一のマンモス自治会です。茅ヶ崎一の活動にも「痒い所に手が届かない」じれったさがあります。「広報かがわ」だけでは、なかなか活動の全容が見えないかも知れません。しかし、各町内会や各委員会とも、年間事業計画を立て、みんな自分の時間を割いて一生懸命に活動しています。市営の駐輪場の整備について、名前も告げず、「自治会役員は、何をしている」と言うような「お叱り」がありました。もう少し「やさしく」「温かく」励ましていただけないものでしょうか。でないと、「広報かがわ」一四二号で、志沢馨さんが提案されているような「広い範囲から役員を公募する」ことなど、ますます不可能になるでしょう。最後に、別件ですが、「鼠で燃

やして出る煙」とか、「無灯火の自転車の危険」に対して、苦情が寄せられています。お互いに注意したいものです。「住み良い香川」にするために、私たちも「やさしさ」「温かさ」を忘れず、頑張りたいと思います。よろしく。

香川公民館で

「手打ちそば作り」

を実施

香川公民館では「かがわの年越し」として、手打ちのそば作りの講習会を開いた。先ず「そばの話」から始まった。講師は厚木調理学校の諸岡洋二先生。

(1) そばの話

そばは肥沃な土地よりもやせた土地に適し、耐寒性であり、75日で完熟するなどといわれ、早熟で凶荒時の作物として作られた。夏でも秋でも栽培できるので、

稲の作柄をみてからも、急の場合にも、まにあった。発祥は「近江の伊吹山」とされているが、気候風土の関係から甲斐・信濃に発達栽培されるようになった。

昔は粉に熱湯を入れて、こねただけの「そばがき」だけだったが細く切る「そばきり」は、甲州から始まったといわれ、「うどん」から学んだとされる。

また、東大寺に朝鮮の僧「元珍」がきて、小麦粉を「つなぎ」に入れることを伝え、「麺そば」ができたといわれる。二・八そばは、小麦粉二割、そば粉八割で作られる。特殊そばは、高級店といわれる店で作られ、大名や旗本の御用達を受けた。若草切り、五色切り、木の芽切り、茶そば、柚子切り、卵切り、鯛切り、海老切り……等、各地の名所でも、地名や旧跡を冠して名付け、現在もその名が伝えられている。

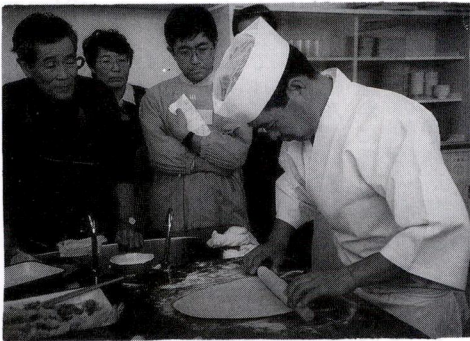
信州一更科そば、木曾一寝覚そば、甲州一御獄そば、印旗沼一甚兵衛そば、須磨一敦盛そば、武蔵野一深大寺そば……等。

※川上そば
甲斐、武蔵、信濃にまたがる甲武信岳の山麓に近い川上村で産します。花の咲く頃には秋冷となり、辛うじて実を結ぶので「霧下そば」といわれ、村外不出の味として甲州を誇る。

※藪そば
孟宗の竹藪がある団子坂の広い土地に、石を配置したり、離れ座敷を作り、眺望のよい庭園を持ち、そば道具もすべて竹で作られ、持ち帰り用の「そばつゆの入れ物」も竹筒を用い、杵も大根を使ったりと雅趣を取り入れた。屋号は「蔦屋」だったが「藪」と通称されるようになった。

※年越そば
昔、金や銀を延ばすのに、打ち粉としてそば粉を用いた。(金粉や銀粉の散ったのを、そば粉に吸いこませて寄せた。)「金を延ばし、金を吸いよせる」という縁起をかついだのが、商家の晦日そばとなった。(当日の資料より)

(2) 実習
各班5人ずつのグループで指示通りに行なった。そば粉2カップ



そばののし方を実演

強力粉1カップを温湯でこね、十分にならねてラップに包んで30分位ねかす。之を麺棒で薄く延ばし折り畳んで細く切り、熱湯でゆで、ザルにとり冷やす。

受講者20名中女性4人。「今は何の会でも女性が多いのに、男性が多いのは珍しく嬉しい。」と先生はびっくり。皆さん熱心で手ぎわもよく、「女房に寝こまれても之で大丈夫。」「レパートリーが増えた。」など大喜び。先生から合

意見やまざまに思う

衛生委員長 榎本正明

電話に出た私の耳に「委員長さんかね、あんた香川駅の駐輪場見た事あるかね。あれは、あんたらの仕事ではないのかね。きたねえし、ガタガタだし、あれは香川の恥さらしだよ。そう思わんかね。何とかしたらどうなんだ!!」

おっしゃる通りです。われわれもけっして無関心でいるわけでは有りませんが、市役所の管轄下に有りますので、自治会長を通して市の方に依頼する一方で、われわれも美化運動の一環として対処しておりますが、いわば「イタチごっこ」的姿が現実です。何か良い方法が有りましたら教えて下さい。

「何を言ってるんだ。それを考えるのが、あんたらの仕事だろ。何のために役員をしているのか。」たいへん建設的な意見を有難うございます。さっそくにも次回で、お名前をお聞かせ下さい。そしてもし都合がつけられれば役員会の席で意見を述べて下さい。それが一番良い姿だと思います。如何でしょうか? 「会議だの名前だの、そんなこ

とはどうでもいいことだ。やることをちゃんとやれよ!!」これで電話は切れた。

私は思う。立派な意見を提示しながら、何で堂々と自分の名前をいえないのか。決して恥ずかしいことでも何でもないのに。何故なんだろうと、残念に思います。もし貴方がこの文を読む機会を得たしたら、良く考えてみて下さい。貴方は自治会の活動をどこまで理解していますか? また一度でも役員の責務に携わった事が有りませんか? おそらく未経験の貴方と判断します。そのわけは、肝心な事が言えない、単なる野次馬だからです。と、あえて私は言っておきます。

立て看板の修繕実施

町内の各所に設置され、日頃広く皆さんから利用されている香川自治会の専用立て看板が、いたんだら、色落ちが目立つ物があるので、環境整備委員会の方と、町内役員の有志の方が、看板の補修とペンキの塗り替え作業を実施しました。

11月24日に第一町内と第三町内、12月1日に第一町内と第四町内の修繕をしました。本当にご苦労さまでした。

熊澤茂吉氏を悼む

香川自治会初代副会長(昭和22年度)、第七代自治会長(昭和28年度)、第十三代自治会長(昭和34年度)、現在自治会顧問だった、曙光産業会長、熊澤酒造ご主人の熊澤茂吉氏が12月16日も膜出血のため急逝された。奇しくも誕生日の二日前のことだった。

多くの人から「茂吉さん」とよばれ、みんなに慕われ、尊敬されていただけに、今回の訃報は、人を驚かせた。

温厚篤実、「人に接するに春風の如し。」ということば通りの、円満な人格者で、聡明な方だった。

毎年文化祭にはパソコンでアート水彩画や陶芸作品を出品し、絵画や謡曲などもたしなみ、趣味も豊かで、生涯学習を全うされた。

ジョギングをしたり、庭やローンテニスクラブの敷地内の草をむしったりして、かくしゃくとしておられ、人間ドックでも60才の若さだと、医師にいわれたと健康を自負しておられたのに……。

湘南ビールの完成を、楽しみにしておられたが、その営業までも見届け、レストランでビールを飲み、食事をしていらっしやうた時に倒れたらどうか。まことに惜しい方をなくしたといえる。

県立厚木高校の第八回生。26インチの自転車を買ってもらい、香川から厚木の学校まで、砂利道に悩まされながら通ったこと、初め「放光」という名で出されたお酒を、茅ヶ崎海岸で見た日の出の美しさに感激して、お父様に「これからは太陽の昇るように社運の発展を願って『曙光』と命名しては」と相談されたところ、「よからう。」といわれて、曙光と名づけたこと、やきものも陶工柿右衛門の作品に魅せられて、製作したところ柿右衛門からお墨つきをももらったこと、NTTのアートセツション水彩画で優勝、全国一になったことなど、9月の敬老の日の取材の折には、とつとつと話して下さったのに……。

90才という天命を全うして大往生を遂げられた茂吉さんのご冥福を心からお祈り申し上げます。

特集 衛生委員の声

衛生委員会の活動の中から

衛生委員長 榎本正明

衛生委員会発足当初の模索的活動も、日を重ねるうちに形ができて、それなりの効果を生んだと判断しています。

こうした活動の中で、毎月実施される会議での話題は、有償物の放置問題です。自転車、布団、机椅子、石油ストーブなど諸々ですが、市から配布されている「ゴミの分け方、出し方」が理解されていないようです。よく読んで守って下さい。ゴミ問題の解消は時間がかかる根気の問題です。

生ゴミの中にビン、カン類を混ぜて出す人もいます。「うっかり」では済まない、恥と云ってよいでしょう。寒川町では袋を半透明にしてマナー守りを促しているとか。いずれにしても、これからの市の大きな課題となってゆくゴミ問題は、いやでも厳しい要望が我々の責任に於て実施せざるをえない状況になると判断します。今からでも良いから、約束を守り、良識有るゴミの対処をお願いします。最後に今一度、「ゴミの分け方、出し方」をしっかり見直してみして下さい。お願いします。

きれいな香川を目標に頑張る

第一町内会 真野涼子

知人からの話で地域の役に立つならと軽い気持ちで委員になった。最初は何も分らずついてゆくだけだった。委員達と町内を歩くとき一時間もないうちに捨てられた

瓶缶でビニール袋が一杯になった。今まで気にせずいた町内も、意識することによって見方も変わってきました。毎月収集日に見廻りをする、出していない布団、ストープ、カーペット等が出ていて、紙が貼られています。家に帰り紙に「出された方はお取り下さい。」と書いて貼っておく。夕方すぐ引取る方、二・三日、一週間もそのままの人もいます。私達が瓶缶を拾っていると「ご苦労様」といって下さる方もいます。そんな時は嬉しくなり委員をしてよかったです。

香川に住んで十数年経つが、越して来た時から「犬のフンが至る所に放置されている」と思った。犬の糞等の注意書は目につくはず。お互にマナーを守り、さわやかな美しい街作りを心がけたいと思う。気のせいかな最近ゴミ置場が前よりきれいになったようで、とても嬉しく感じる。どこを歩いてもきれいな香川、さわやかな香川を目指して、今後も頑張りたいと思う。

衛生委員体験記

第二町内会 前原邦生

昨春、第二町内会のある役員から衛生委員の役に依頼され、お引き受けしてから間もなく一年になるうとしていた。そこでこの一年間を振り返ってみた。

最初は衛生委員の役割が何なのか、わからず引き受けたのですが、ゴミ収集場所のパトロールや、ビンカンの収集等が主な任務である事がわかり、少しガツカリもした。しかし、やってみるといろいろな人と知り合えるし、まわりに地元のために一生懸命働いている人がたくさんいる事もわかり、自分も

「ゴミ」の減量に協力を

第三町内会 竹牟礼みさ子

昨年の反省点として、

- (1) 分別ごみについてまだ理解していない人がいるのが残念。
- (2) ビン・かんや燃えないごみの曜日を間違えている人達がいること。自分のごみは責任をもってほしい。
- (3) ポイ捨てはやめる。
- (4) 犬、猫のフン公害は飼い主が守る等。

衛生委員の仕事として、月に二回程、ごみ置場のパトロールをしている。ルールをきちんと守ってほしいと思うことがしばしばだ。ごみと一言で片付けてしまえば微力ながら頑張ってみようと思うようになった。

そこでビン・カンのポイ捨てに関して一言。各町内会の役員と衛生委員でパトロールを実施すると、委員でパトロールを実施すると、一時間たらずで、数百個の空ビンや空カンが収集される。これを年に何回も繰り返す。しかし、このパトロールで収集されるのは一部で、多くのものは日常かたづけられているものと思う。香川全体では年間に数千いや数万個のビン、カンが捨てられ、かたづけられているものと思う。これらの原因は勿論心無いポイ捨てによるものもあるが、近年急増している自動販売機も一因であろう。販売機の脇に空カン入れを設置してあるものもあるが、設置されていないものも多い。自動販売機を設置する時は、是非空カン入れも設置して欲しいものである。これで全面解決する訳では無いが、このような努力の積み重ねが大切である。こんな事を考えながら衛生委員の活動を続けている。

それでおしまいが、考えると奥深いものだと感じている。

今年も、一月六日からごみ収集が始まったが、ゴミはどの家庭からも出る。しかしちよつとの心配りで少しは減ると思う。この少しが、皆さんの協力でたくさんの方の減量になるのだ。

今年も、私達衛生委員三人で、ごみ問題に協力しあって解決するように努力するので、皆様のご協力をお願いします。

ちがさき教育フォーラム'96

茅ヶ崎市文化会館小ホールで、十二月七日(土)第一土曜日、恒例の茅ヶ崎市教育委員会主催の「ちがさき教育フォーラム」が開催された。茅ヶ崎市の小・中・高

校生の生徒さん達が、自主的に実行委員会を発足し、自分達が企画し、計画を立てテーマを決めて、地域での活動をスライドを見ながら発表したり、老人福祉センターを訪問した時の様子を、ビデオに撮り発表して、どのような生き方をすれば心豊かな人間になれるの

か、皆で考える場所がちがさき教育フォーラムだということが参加して分った。今年度は第一部が「地域からのメッセージ」で、テーマは「地域は今、新たな発信へ」。

香川学区北子ども会、梅田中学校、松林学区青少年育成推進協議会の代表の方々がスライドを通して地域での活動を発表した。アトラクションに萩園中学校三年二組の皆さんによる合唱。曲目は、「流浪の民・モルダウの流れ・晩秋の里」の三曲を合唱した。第二部は「ときめき子どもフォーラム」。

テーマは「みんなの生き方知りたいな」。小・中・高校生による介護体験の報告と、会場の皆さんと「将来の生き方」について話し合い、とても素晴らしい会だった。

参加者は三百五十四名で、現代の子どもの考え、夢などが聞けたこと、また子ども達が何を求めているかを考えているかがよくわかる会です。小・中・高生生の皆さん、保護者の皆様方が一人でも多く参加して耳を傾けてほしいと思います。入場は無料。(杏沢)

2・3月の自治会活動計画

(2月) (3月)

本部組長総会	定例役員会
総務定例役員会	活動計画まとめ
委員会	決算書作成
文化厚生委員会	同上
広報企画、取材、編集、校正、発行	反省会
環境整備駅前清掃	同上、子供会と合同会、反省会
衛生環境指導員、全体・地区会議衛生委員パトロール	委員会(反省会)
ふれあい ボーリング大会	委員会(反省会)
消防消火器販売と詰め換え	春季火災予防運動
正副分団長会議	
(備考) (1) 消防委員会 (1) 毎月2回定期訓練 (2) 毎月15日電話試験 (3) 毎月15日無線試験 (4) 毎月20日電話試験 (5) 毎月月末世帯数異動調査 (6) 各種文書配布	

平成8年度 自治会館特別会計 前期の報告

平成8年4月～9月
会計副委員長 藤田進
(単位:円)

収入額	支出額	差引額
837,109	571,100	266,009

<収入の部> (単位:円)

科目	予算額	実績額
繰越金	155,643	155,643
会館使用料	1,100,000	522,030
駐車場収入	240,000	127,800
雑収入	50,000	31,636
合計	1,545,643	837,109

<支出の部> (単位:円)

科目	予算額	実績額
会議費	30,000	8,290
自治会館償却当金	100,000	0
電灯電力料	300,000	153,041
電話使用料	70,000	28,569
水道料	60,000	13,702
光熱費	78,000	36,532
備品費	100,000	0
事務・消耗費	60,000	7,798
清掃費	60,000	16,200
修繕費	50,000	18,968
駐車場借用代	270,000	135,000
駐車場管理費	24,000	12,000
建物保険料	241,200	120,600
予備費	102,443	20,400
合計	1,545,643	571,100

三河屋さんを訪ねて

子供から大人迄、幅広く親しまれている煎餅。香川には「煎餅といえは三河屋」といわれる銘店があります。朝の通勤の慌ただしい中、時折もち米の蒸すほのかな匂いが、風に運ばれてくることあります。



三河屋ご主人

御主人の河合繁美さんは、昭和28年に厚木の三河屋さんに見習として入り、10年間の修業を経て昭

和38年に独立。現在の場所を店を構えた。その頃の香川周辺には、二・三百軒位の家がなく、静かな所だったという。店には煎餅の他、パン、牛乳、菓子等を置いていたが、周りに規模の大きな店ができ始めてそれを機に煎餅の専門店として昭和59年に工場、そして店も新しくしたそうです。その工場を見学させて戴く事にしました。

工場の敷地をフルに活かし、一枚一枚火の上をパタンパタンと自動的にひっくり返りながら、段々に香ばしく焼けて、最後に醬油の味つけをして出来上り。何か日常の慌ただしさを忘れさせてくれます。

この三河屋さんには毎年、香川小学校の3年生が社会科授業の一環として、工場見学に来ており、10年も続いているそうです。見学の後、質問コーナーで一人の生徒さんが「お煎餅を作っている上での目標は何ですか?」と聞かれ、このような質問は初めてで驚いたが、その時お答えしたのが① 最も大事なことは、安全で安

心して食べられること(材料を吟味している)。
② お客様に喜ばれる物を作る。

河合さんは「独立した最初の年は結婚と同時にだったので、大変だったが、煎餅を作っていく上での苦労とか努力は、していくことが当然で、お客様に納得して戴けた時が嬉しい。そして無理をせずに自然体で、ブームに流されずにつけたら良いと思っている」と話される。

現在、息子さんも家業を継いで一家揃って煎餅を作っている。

河合さんも今では安心して息子さんに仕事を任せて、奥様と旅行に出かけられるようになったと笑顔で話して下さいました。(塚田)

フォトクラブ 加入のお誘い

香川フォトクラブでは、毎月第一土曜日に、午後二時から五時まで、香川公民館で写真の勉強会をしています。



受講中のフォトクラブの人たちと堀田先生

講師は神奈川報道写真連盟・県高校写真連盟審査員、写真教室講師、横浜美術協会会員など、各方面で活躍しておられる堀田義夫先生と、アマチュア写真家の小西昭夫氏。お二人が隔月に会員の作品について批評をしたり、技術指導をして下さいます。

会員同志で批評をしあったり、撮影の苦心談を話したり、和やかに楽しく活動しています。また年二回位、会員の希望で撮影会を開いています。これ迄に箱根、弘法山、三溪園、八景島、曾我梅林などに行きました。また年二回コンテストを行っています。

会費は月額800円。写真技術の向上と親睦を図ることを目的としています。以前から写真に親しんでおられた方、これから写真を始めようと思っておられる方など、ぜひ一度、当クラブの例会に参加してみても如何でしょうか。

会員一同心からお待ちしています。入会ご希望の方は、左記役員の方まで、ご連絡下さい。

石井栄 ☎(0)一八六六九

これらが一つになり、面・装束を用いて演じられるものです。日本人の感性が生み出した独特の伝統芸術です。

近頃、若い人の中でも、外国人の間でも、熱心に稽古されたり、また観賞されたりして、理解者が増えております。

能の一部分「謡と仕舞」を気楽に、一語に研究なさいませんか。詳しいことは、直接お話し致しますので、左記へご連絡下さい。

連絡先、第四町内会 堺 ☎(0)一四五四八

新春の能

T・N

能の正規の上演形式は、「能にして能にあらず」といわれている「翁」を、最初に五番立で上演される。現在、年一回二月に能楽協会主催、東京都の後援で催される式能が、この上演形式で行われている。翁を演ずる人は毎年五流「観世、金春、宝生、金剛、喜多」の宗家が交替で舞う。翁、千歳、三番叟(三番三)と舞われ、次に神、男、女、狂、鬼と五番が続く。普通は能三番に狂言二番、能二番に狂言一番といった具合に、上演されることが多い。

式能では神のときの協能は、白髪の老人夫婦の出でくる「高砂」である。婚礼の時によくうたわれる「高砂やこの浦舟に帆をあげて……」はワキが待謡をうたうところである。おわりの「千秋楽は民を撫で万歳業には命を延ぶ……」の小謡は能会の終りに「附祝言」として謡われることから、会の終りや芝居の仕上げの目を「千秋楽」とよぶようになった。

「翁」を演じる前に別火という物忌みの行事が行われる。上演当日、鏡の間に翁飾りという祭壇を設けて、面箱をはじめ諸役の持ち物、

訂正

前号で文化祭展示の富士山の写真を真崎彰夫さんの作品と紹介したのは、中村重雄さんの誤りでした。訂正しておわび致します。

- 吉野辰蔵様 92才 11月22日
第四町内会 2組
- 平野と志多様 85才 12月11日
第四町内会 6-1組
- 栗野キヨ様 82才 12月14日
第二町内会 28組
- 近藤順三様 79才 12月15日
第二町内会 27組
- 熊澤茂吉様 90才 12月16日
第四町内会 38-3組
- 三橋笑子様 76才 12月17日
第三町内会 14組
- 鈴木よし様 77才 12月25日
第二町内会 1-3組
- 熊澤恒雄様 66才 12月27日
第三町内会 2-1組
- 三橋厚一様 49才 12月27日
第四町内会 6-2組
- 折毛五郎様 71才 1月6日
第二町内会 51-1組

今は亡き方々のご逝去を悼み、謹んでお悔やみ申しあげますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。

訂正

前号で文化祭展示の富士山の写真を真崎彰夫さんの作品と紹介したのは、中村重雄さんの誤りでした。訂正しておわび致します。

長島久江

揚げ舟にさまざま旗初景色
正月は漁も休みて浜に曳き
げた舟に松を飾り、何本もの大漁旗がはためいている漁村の風景、浦も風ぎているだろう。

田辺美津江

千大根まわりの色になじみけり

掛けたばかりの大根は真っ白
だらうが、日がたつにつれて皺
が殖え色もくすんできて、周囲
の枯色にとけ込んでしまった。

時間の経過が見える。
節料理得意の品を加へけり

青山淳子

三ヶ日過ぎて畳の広さかな
目出度い三ヶ日と言つても、

句 茅花会

俳

平塚司郎選

水仙の相背きつつ凍とせり

藤村球子

年賀の客が見えたり、家族が集
つたりで忙しかったが、それも
一段落して、座敷は広くなった
ような気がしてくる。

古曆嫁がせし日の二重丸

俳

平塚司郎選

十二月月が一枚になつて
暦なのである。娘の結婚式の
日につけてある二重丸に気がつ
き、その日の想いが続々重つて
きて、一くぎりのついた感慨が

胸に迫ってくる。

冬夕焼鳥影小さくなりにけり
碓 百合子

新日記旅の鞆に入れにけり
湯川章一

落葉焚朝の匂ひとなりあり
石田カツ子

古曆画紙の錆びてゐたりけり
石田カツ子

大根洗ふ背のびせし手のやり場なし
石田カツ子

雑炊に舌焼きてなほ固執せり
石田カツ子

知らぬ間に食積あらず子供たち
石田カツ子

朝の陽のきらきら光る冬の海
石田カツ子

亡き母の句集の出版福寿草
石田カツ子

▲選者吟▼
弁天を納め詣として島へ
石田カツ子

連絡先 長島久江 ☎(0)六五二五

能へのお誘い

時空を越え、現在もいきづいて
いる能。この能とは、歌(謡)舞
(仕舞)、劇(物語)、音楽(囃子)、